

平成30年度 早期医療体験実習 スキルスラボツアー

9月3日、4日の二日間に渡り、早期医療体験実習項目の一つであるスキルスラボツアーが開催されました。早期医療体験実習では、医療現場を体験することで医療に対する理解を深め、医学を学ぶ意欲を高めるとともに、以降の学習に具体的に繋がる技能・態度・知識を身に付けることを目的としています。

体験は「心音聴診・シムマン3G・HPS・バイタルサイン測定・腹腔鏡下手術手技」の5項目行い、1班18名編成で各項目40分ずつローテーションしました。

心音聴診では聴診器の使い方を学んだ後、心臓病診察シミュレータ【イチロー】を使用して心音の聴診を体験しました。シムマン3Gでは、急変時のシナリオトレーニングができることを体験し、HPSでは麻酔には様々な種類があることや麻酔管理について指導を受けながら一連の流れを実施しました。バイタルサイン測定では二人一組となり互いに血圧測定を行い、腹腔鏡下手術手技では、内視鏡シミュレータと鉗子を使用して、小豆つかみや糸結びを体験しました。

学生たちはこれから本格的に始まる医療学習に向けて、意欲的に取り組んでいました。今後の実習においてスキルスラボを利用する際は、より専門的な学習を進めることができるかと思えます。

【心音聴診】



【シムマン3G】



【HPS】



【バイタルサイン測定】



【腹腔鏡下手術手技】



【オリエンテーション】

